

平成22年5月11日
原子力安全対策課
(22-19)
<15時記者発表>

高浜発電所2号機の出力量低下について (発電機水素ガス冷却器冷却水の漏れ)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所2号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力82.6万kW)は、定格熱出力一定運転中のところ、本日5月11日10時30分頃、巡回点検中の運転員が、タービン建屋2階にある発電機内部を冷却する水素ガスを冷やすための発電機水素ガス冷却器4台(A, B, C, D)のうち、B冷却器の冷却水入口配管のドレン配管付根付近から冷却水の漏れ(約0.8ℓ/分)を確認した。

今後、当該冷却器の冷却水系統を隔離し、漏れ箇所の点検および補修を行う。この隔離にあたっては、冷却器で冷やされた後の水素ガス温度が50℃以下になるよう管理していることから、残り3台の冷却器で、水素ガスの温度を管理値内にできるように、発電機の発熱を抑えるために発電機出力を約105%から約98%に降下させる。

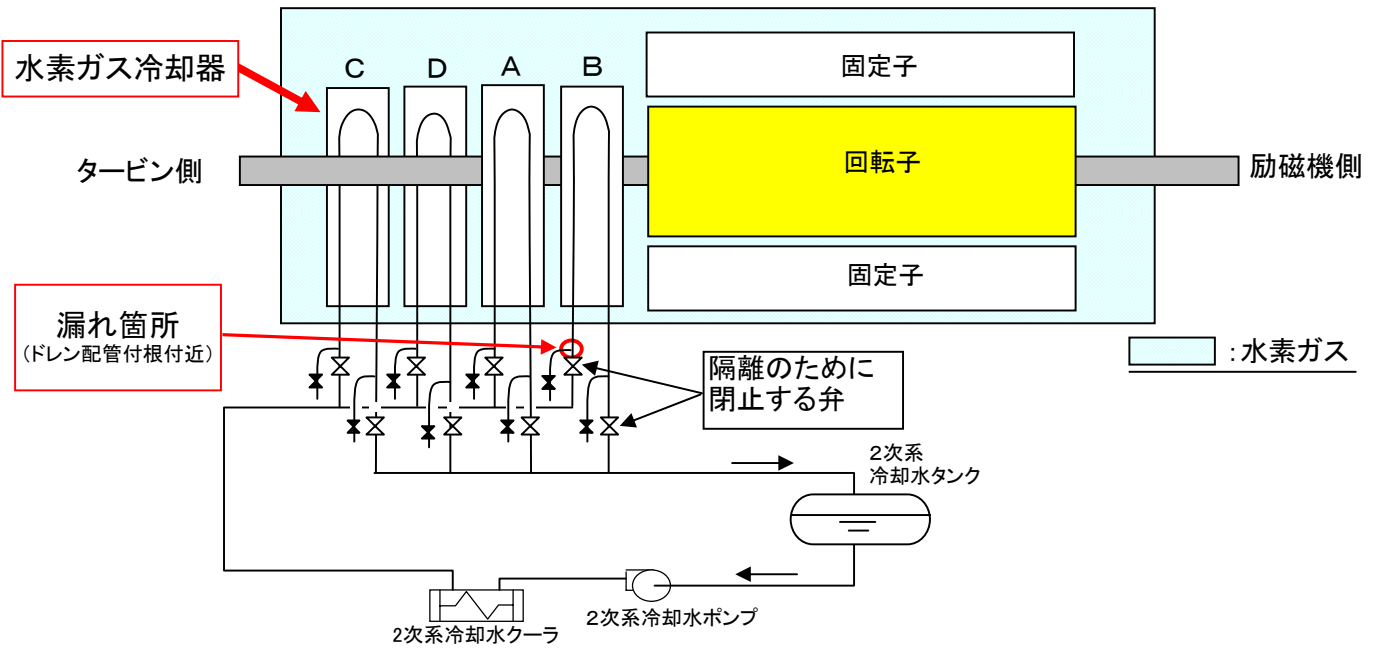
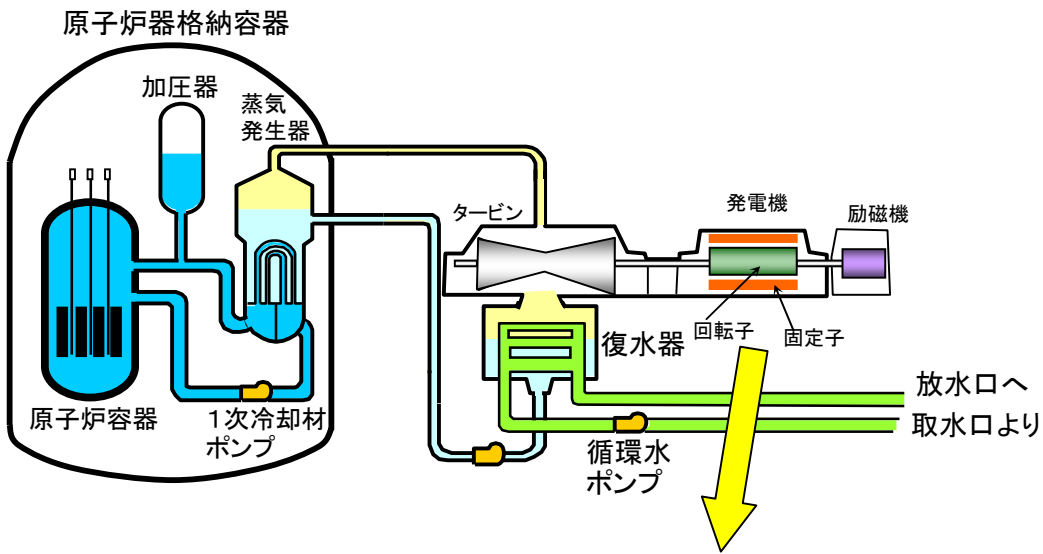
出力降下は16時頃から開始し、16時20分頃に約98%とした後、当該冷却器の冷却水系統を隔離し、点検および補修を行う。

現在、発電機水素ガスの冷却器出口温度(約41℃)や発電機水素ガス冷却器冷却水系統の圧力(約0.6MPa)等に異常はなく、プラントの運転パラメータにも影響はなく、安定している。また、漏れ量も大きな変化はない。

なお、今回の事象では放射能による環境への影響はない。

問い合わせ先(担当:有房) 内線2354・直通0776(20)0314
--

高浜発電所2号機 発電機水素ガス冷却器冷却水の漏れ



漏れ箇所の状況図

漏れ箇所 (ドレン配管付根付近)

漏えい状況
0.8リットル/分

